企業立地 in 埼玉

埼玉県内の企業立地件数は増加傾向が続き、２０１３年度は日本梱包運輸倉庫（小川町）、シチズン時計マニュファクチャリング（所沢市）などが立地企業に名を連ねた。一方、誘致の受け皿となる産業団地では、大栄不動産が中心になって開発を進める「東松山葛袋産業団地」（東松山市）などさまざまな動きがみられる。

県内の企業立地、昨年度は82件
リーマン・ショック以降最多

埼玉県のまとめによると、２０１３年度の県内の企業立地件数は前年度比3件増の82件で、08年のリーマン・ショック以降で最多を記録した。80件を超えるのは07年度（84件）以来。リーマン・ショック後の09年度を底に増加傾向が続いているといえる。

もともと県には立地の魅力が数多い。人口約４３００万人を擁する首都圏の中央に位置し、鉄道網、高速道路網が充実しており、多種多様の優れた製造業が集積している。研究機関や大学も比較的多い。また台風や地震などの災害が少ない一方、快晴日数は多く、恵まれた自然環境にある。地価は東京都や神奈川県に比べ割安だ。

こうした条件を生かした県の取り組みも奏功している。

県は13年4月から16年3月までの3年間、県内産業の振興と雇用の創出、税収の確保を図ることを目的に企業誘致策「チャンスメーカー埼玉戦略Ⅲ」を展開。立地件数１５０件を目標とする。13年度の実績で、早くも目標の半数以上を達成したことになる。

05年1月以降、県は戦略的な企業誘致に力を入れてきた。今年3月までの9年3カ月で延べ立地件数は712件を記録。また10年4月から13年3月までの「チャンスメーカー埼玉戦略Ⅱ」の3年間では、目標１００件に対し201件の実績を残している。

東松山葛袋産業団地
地域経済にインパクト

「東松山葛袋産業団地」の航空写真（14年3月23日撮影）

大栄不動産（東京都中央区、石村等社長、０３・３２４４・０６２５）が中心になって開発を進める埼玉県東松山市の「東松山葛袋産業団地」。全区画の立地企業がすでに決まっており、このうちヤオコー（埼玉県川越市）は「デリカ・生鮮センター」をこのほど竣工。同団地での企業活動がいよいよ始まる。

同団地に立地するのはヤオコーのほかに、しまむら（さいたま市北区）、ＳＧリアルティ（京都市南区）、日世（大阪府茨木市）。

同団地は総面積が28万１９７６平方㍍で、工場用地面積が16万６０７５平方㍍。自然環境に配慮し、緑地と公園で約8万６０００平方㍍の緑を創出している。関越自動車道の東松山インターチェンジ（ＩＣ）から車で3分、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の川島ＩＣから車で16分と交通至便な立地で、地質についても岩盤で硬い地盤であるのが特徴だ。

同団地の企業立地に伴う経済波及効果については、建設投資による波及効果が約３７０億円、立地企業操業に伴う波及効果（平年ベース）は約２５５億円を見込む。石村社長は「地域経済には大きなインパクトになった。雇用効果がけっこう大きいのではないか」と話している。

圏央道周辺は一巡
産業団地を全県的に造成
埼玉県公営企業管理者 松岡進氏に聞く

埼玉県企業局が整備を進める産業団地の現状などについて、松岡進公営企業管理者に聞いた。

―企業局が整備する産業団地の状況は。

「現在『幸手中央地区産業団地』を分譲中で、これから造成するのが『杉戸屏風深輪地区産業団地』。今後はさらに加須に産業団地をつくる予定である。幸手はＡ地区とＢ地区があり、Ｂ地区の一部では区画を定めないで募集する〝オーダーメイド方式〟を採用。Ａ地区は13区画のうち、あと2区画を残すだけになった」

「埼玉は一時期、企業立地件数で他県をダントツでリードしていたが、最近は北関東自動車道が通る群馬、栃木の件数が伸びている。圏央道（首都圏中央連絡自動車道）周辺は田園が広がり環境もよく、地理的にも恵まれている。しかし、造成するとすぐに完売し、売れる用地がほとんどない。そのため、今後はいままで以上に造成面積を増やそうと思っている。北関東道に負けないようにやっていきたい」

―圏央道周辺でさらに産業団地を造成するということですか。

「圏央道周辺は一巡したので、もう少し北の方も含めて全県的に造成を進めたい。すでに予備調査がおわったところは2カ所あり、今後さらに数カ所で予備調査に入る予定である。関越自動車道や4車線に拡幅された国道の周辺など狙いを定めているところはいくつかある」

―産業団地を分譲した100億円の利益をもとに「産業振興・雇用機会創出基金」が創設されました。

「圏央道で出た利益が100億円の基金につながった。この基金は『先端産業創造プロジェクト』の次世代産業などに活用される。企業局が行う産業団地の供給が、基金事業とうまく絡み合って県内経済の活性化につながることを期待している」

since 1950　大栄不動産　検索

大栄不動産は新しい価値を創造します。
安定成長を支えるのは、お客様との信頼関係

「誠実と信用」を第一に、総合不動産会社として幅広く事業を展開しています。
快適な業務空間、生活空間の創造を通じて、
法人から個人まで不動産のあらゆるニーズにスピーディーにお応えするため、
ビル事業・パーキング事業・住宅事業・不動産営業の各部門が
伝統ある独自のネットワークと専門機能を発揮して、高品質の商品、サービスを提供してきました。
熊谷市では、有料老人ホーム「グリーンフォレストビレッジ」の運営を手がけており、
東松山市においては、産業団地の開発にも携わっております。
そうして築いたお客様との信頼関係が当社の安定成長を支えているのです。
これからも「社会の発展を支え、よい住まいとよい環境をお届けする」をモットーに
新たなフィールドを開拓し続けます。

人と暮らしのこれからに
大栄不動産
ビルの賃貸・管理、不動産の売買・仲介・鑑定、住宅分譲、駐車場の運営・管理、有料老人ホーム運営・管理
本社　〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1丁目1番8号 TEL 03-3244-0625
東京支店　TEL 03-3244-0621／立川出張所　TEL 042-522-8791／大宮支店　TEL 048-647-0992／熊谷出張所　TEL 048-522-0911
浦和支店　TEL 048-829-2466／川越支店　TEL 049-246-6156／越谷支店　TEL 048-985-3801